

## 九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520775>

---

出版情報 : 九州大学新聞. 592, 1969-04-25. 九州大学新聞部  
バージョン :  
権利関係 :

九州大学新聞

発行所 福岡市福岡区 九州大学新聞部 電話(64)11101 郵政特種郵便第13103号 4頁20円・2頁10円 年400円・半年200円 発行人 並木良夫

五学部でスト闘争

本部・法文系を封鎖

4・28

板付基地へデモ

22日

学生十名逮捕さる

27・28日のデモで

松原



決断のあやまり

Main body text for the 'Matsubara' and 'Decision' articles, discussing student movements and university administration.

教育学部 遠藤辰雄

井上(京大)氏が講演

日共・民青を批判

文学部院生が改革要求

研究室の自由使用など求めて

Main body text for the 'Iino Lecture', 'Literature Department', and 'Student Reform' articles.

創刊六百号記念 評論・小説募集

九州大学新聞 九州大学新聞部

# 卒業論文

## アノミー理論の現代的課題

——社会的・心理的アノミーの統合化をめざして——

文学部・哲学科  
社会学専攻 三浦典子

### はじめに

「アノミー」は、フランス社会学者デュルケムが「社会学」に於いて初めて用いた用語である。彼は「社会学」の第1巻で「社会生活の規律は、個人が社会生活に適合するようにならなければならない。この規律は、社会生活の目的を達成するために必要である。この規律は、社会生活の目的を達成するために必要である。この規律は、社会生活の目的を達成するために必要である。」と述べている。

(1) デュルケムの「自殺論」にみるアノミー

19世紀後半のフランスは、産業革命の進展に伴って、社会生活が急速に変化を遂げていた。デュルケムは、この社会生活の変化が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、「自殺論」を著した。彼は、自殺の頻度が社会生活の規律と関係していることを示し、アノミーの概念を導入した。

(2) マーソンの社会構造論

マーソンは、社会構造論を提唱し、社会生活の規律が、社会構造によって決定されていることを示した。彼は、社会構造が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、「社会構造論」を著した。

## アノミーとしての内面化された文化の不安定

### アノミーへの傾向を高める幻想

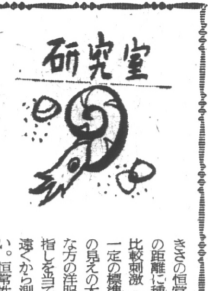
現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

## 第一章 アノミー理論の発展

### 第一節 社会的アノミー論



## 研究室

本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。

本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。

本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。

本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。本研究室は、アノミー理論の発展を研究するために設立された。

### 知覚恒常性



知覚恒常性は、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。これは、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。

知覚恒常性は、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。これは、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。

知覚恒常性は、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。これは、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指す。

### 心理学 船津孝行

船津孝行は、心理学の分野で重要な研究を行った。彼は、知覚恒常性の研究を通じて、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指すことを示した。

船津孝行は、心理学の分野で重要な研究を行った。彼は、知覚恒常性の研究を通じて、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指すことを示した。

船津孝行は、心理学の分野で重要な研究を行った。彼は、知覚恒常性の研究を通じて、知覚が外界の刺激の物理的変化にもかかわらず、一定の知覚を維持する性質を指すことを示した。

「アノミー」は、フランス社会学者デュルケムが「社会学」に於いて初めて用いた用語である。彼は「社会生活の規律は、個人が社会生活に適合するようにならなければならない。この規律は、社会生活の目的を達成するために必要である。この規律は、社会生活の目的を達成するために必要である。」と述べている。

現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

## 第二章 現代社会とアノミー

### 第一節 社会発展に伴う構造的矛盾とアノミー

現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

現代社会は、急速な社会生活の変化を遂げている。この変化は、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために、アノミーの概念が用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

### 第二節 アノミーの概念

アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。アノミーは、社会生活の規律が、個人にどのような影響を及ぼしているかを研究するために用いられる。

### 第三節 社会的・心理的アノミーの統合化をめざして

社会的・心理的アノミーの統合化は、現代社会の課題である。これは、社会的・心理的アノミーの統合化をめざして研究を行う必要がある。

社会的・心理的アノミーの統合化は、現代社会の課題である。これは、社会的・心理的アノミーの統合化をめざして研究を行う必要がある。

### 第一節 分析の視点

分析の視点は、現代社会の課題である。これは、分析の視点を研究を行う必要がある。

分析の視点は、現代社会の課題である。これは、分析の視点を研究を行う必要がある。

広告のため非表示

# 卒業論文

二面よりつづく

## 第一節 生活構造論

生活構造論とは、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

## 第三節 生活構造の流動化

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

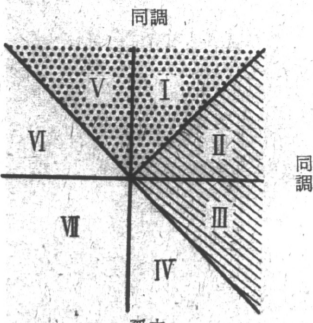
## 第四章 アノミーへの適応

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

## アノミーへの適応様式

所属集団からの役割期待 (現実)



注 {  
 ■■■■■ は現実に対して積極的動機づけ  
 ■■■■■ は理想に対して積極的動機づけ

## おわりに

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。生活構造は、個人が生活する中で、どのような生活構造を形成し、それがどのように変化するかを研究するものである。

広告のため非表示

広告のため非表示

# 東大紛争の記録

東大紛争文書研究会編

(1) 東大紛争の経緯  
 昭和二十三年七月六日、東京大学で、学生による「東大改革委員会」の発足が、戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。この委員会は、戦前戦中の教育政策を、戦前戦中の国家主義教育の延長線上にあり、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。

(2) 東大紛争の経緯  
 戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張する「東大改革委員会」の発足が、戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

(3) 東大紛争の経緯  
 「東大改革委員会」の発足が、戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

(4) 東大紛争の経緯  
 「東大改革委員会」の発足が、戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

(5) 東大紛争の経緯  
 「東大改革委員会」の発足が、戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

## 「アジビラ」のもつ空虚さ 人間群への飢餓

「アジビラ」のもつ空虚さ  
 人間群への飢餓  
 戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

### サークル活動

東大紛争文書研究会編  
 「アジビラ」のもつ空虚さ  
 人間群への飢餓  
 戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

### 大学短評

東大紛争文書研究会編  
 「アジビラ」のもつ空虚さ  
 人間群への飢餓  
 戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

## 一般人の闘争の水路づけ

### 大胆すぎる論理的整合性の検討

竹内小代美  
 戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。



竹内小代美

戦後教育界の一大事件として、世に知られるに至った。この委員会は、戦前戦中の教育政策を批判し、戦後教育の刷新を主張するもので、その中心人物は、当時学生運動の中心となっていた「東大青年会」のメンバーであった。委員会は、まず「東大改革」の目的を「戦前戦中の教育政策の批判と戦後教育の刷新」に定め、その第一歩として、戦前戦中の教育政策を批判する「戦前戦中教育批判委員会」を組織した。

広告のため非表示

